

2022 年 9 月 7 日

ビークルエナジージャパン株式会社の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有するビークルエナジージャパン株式会社（本社：茨城県ひたちなか市、代表取締役 CEO 社長執行役員：池内 弘、以下「ビークルエナジージャパン」）の株式の全部を日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表：内田 誠、以下「日産自動車」）に譲渡することを決定し、最終契約書を締結しましたのでお知らせします。

ビークルエナジージャパン株式会社について

設立 : 2004 年 6 月 (2019 年 3 月に社名を日立ビークルエナジー株式会社から変更)
本社所在地 : 茨城県ひたちなか市
代表者 : 代表取締役 CEO 社長執行役員 池内 弘
事業内容 : 車載用リチウムイオン電池、モジュール及びバッテリーマネジメントシステムの開発、製造及び販売
URL: : <https://www.ve-j.co.jp/>

日産自動車株式会社について

設立 : 1933 年 12 月 26 日
本社所在地 : 神奈川県横浜市
代表者 : 代表執行役 社長兼最高経営責任者 内田 誠
事業内容 : 自動車の製造、販売および関連事業
URL: : <https://www.nissan-global.com/JP/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

【別紙】

1. 対象会社

- ・ 事業者名 : ビークルエナジージャパン株式会社
- ・ 設立 : 2004 年 6 月（2019 年 3 月に社名を日立ビークルエナジー株式会社から変更）
- ・ 本社所在地 : 茨城県ひたちなか市
- ・ 代表者 : 代表取締役 CEO 社長執行役員 池内 弘
- ・ 事業内容 : 車載用リチウムイオン電池、モジュール及びバッテリーマネジメントシステムの開発、製造及び販売
- ・ URL: : <https://www.ve-j.co.jp/>

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定公表日 : 2018 年 12 月 25 日
- ・ 支援決定金額 : 105 億円（上限）
- ・ 実投資額 : 101 億円
- ・ プレスリリース : 車載用リチウムイオン電池事業を行う日立ビークルエナジーへの共同出資について
https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_HVE_20181225.pdf

3. 経緯

（1）出資の経緯

ビークルエナジージャパンは、車載用リチウムイオン電池事業を行っている。同分野において、日本メーカーは、技術力の高さから優位性を確立していたが、韓国や中国メーカーの台頭により世界的に競争が激化。電池産業における日本メーカーの優位性や競争力を維持・強化するためには、日本の技術を結集させた次世代電池の共同開発体制を構築する必要があるとの認識のもと、INCJ は、マクセル株式会社（当時、マクセルホールディングス株式会社）、日立 Astemo 株式会社（当時、日立オートモティブシステムズ株式会社）と共同でビークルエナジージャパン株式会社（当時、日立ビークルエナジー株式会社）に出資した。

（2）事業の進捗

国内外の OEM におけるハイブリッド車の供給ニーズの高まりや、脱炭素化の動きに伴い、OEM 各社からのハイブリッド車向けリチウムイオン電池の受注は増加した。ビークルエナジージャパンは、電池制御技術や、高品質・高信頼性を確保する量産技術の構築により、ワンストップでの車載用リチウムイオン電池の提供体制を実現し、OEM のサプライチェーンにおいて不可欠な役割を果たしている。また、同社はリチウムイオン電池の安定供給を図るため、生産ラインの増強など、供給体制の強化を進めており、自動車メーカーにおける電動車両の普及に貢献している。

(3) Exit の経緯・内容

初回投資から３年が経過し、ビークルエナジージャパンは、車載用リチウムイオン電池市場において、一定の地位を確立した。INCJ は、同社の更なる事業成長のため、電動化戦略を掲げる日産自動車への株式譲渡が最も適切だと判断し、保有するビークルエナジージャパンの株式の全部を譲渡することとした。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

意見なし

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話：03- 5532-7086

URL：<https://www.j-ic.co.jp/jp/>

<https://www.incj.co.jp/>